

ICT 教材・機器 活用事例

学部	高等部	学年等	グループ	教科	社会
授業名(単元名)	身近な産業				
活用した場面	一斉学習	個別学習	協働学習		

1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

①電子黒板, 提示用 iPad + Keynote

学習課題をKeynoteのスライドで提示しながら説明する。

②1人1台 iPad + Keynote

1人1台 iPad の Keynote を利用して、スライド作りに取り組む。

③電子黒板, 1人1台 iPad + Keynote

1人ずつ作成したスライドの内容を発表する。

2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
○『加工食品が私たちの手元に届くまで』を説明	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次産業、第2次産業、第3次産業の関わりについて、加工食品の原材料、製造過程を調べて、スライドにまとめる。 ・あらかじめ教員が準備した加工食品の中から食品を選ぶ。 『食パン』 原材料:小麦(第1次)→製造工場(第2次)→小売店(第3次)→消費者 ・教員の端末から、スライドの原本を“AirDrop”で生徒の1人1台 iPad へ送信する。 	①電子黒板と提示用 iPad + Keynote
○スライド作りをする	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台 iPad の Keynote の app を使って、スライド作りをする。加工食品の原材料や製造工程、製造工場の写真を検索して、スライドに貼り付ける。 	②1人1台 iPad + Keynote
○作成したスライドの内容を発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ずつ作成したスライドの内容を発表する。 ・発表者の端末を電子黒板のケーブルに接続し、スライドを映し出す。 ・発表を聞く生徒は、発表した内容に応じて、番号札を挙げて感想を提示する。①いいね! ②なるほど!勉強になった! 	③電子黒板と1人1台 iPad + Keynote

3. 活用の成果

- ・以前にも別の単元で、同様の流れで授業を展開していたこともあり、スライド編集の仕方や、スライドに必要な写真を検索してスライドに貼り付ける等の作業は概ねどの生徒も理解し、スライド作りをすすめることができていた。
- ・発表した内容に、番号札を挙げて感想を提示するのは、発表しない生徒も発表者の発表を聞こうとする姿勢作りに有効である。